

節水、心がけてますか？水道とその料金

生活用水のおおよその使用量

		状態	おおよその量
蛇口	洗面・手洗い	1分間流しっ放し	12リットル
	歯磨き	30秒間流しっ放し	6リットル
		コップにくむ	0.6リットル
	炊事	食器洗いなどで5分間流しっ放し	60リットル
	洗濯	流しっ放し	90リットル
バケツにくむ		30リットル	
ふろ	浴槽の残り湯半分を洗濯・清掃などに利用	90リットル	
シャワー	3分間流しっ放し	36リットル	

るためなのです。ちなみに東京都の水道料金は、口径別に従量料金を定めています。その従量料金は、段階的に水量ランクごと1^m当たりの料金単価が設定されており、使用量が20^mだと1^m当たり約134円ですが、50^mでは約141円、100^mでは約173円です（口径20mmの場合）。暑い夏には水不足を意識して、節水を心がける方もたくさんいらっしゃると思いますが、秋風が吹く爽やかな季節になると、だんだんとその意識も薄れてしまいがちではないでしょうか。そんなときは、たくさん使うほど単価が高くなる水道料金設定を思い出してご家庭での節水を心がけましょう。日常生活での水の使い方を工夫したり、節水型機器を使用するなど、さまざまな方法で節水を暮らしに取り入れてみてはいかがでしょうかでしょう。

ふろ

一般家庭でのふろの残り湯は、使用状態によって異なりますが、約180リットルといわれています。この半分を洗濯などに利用すれば約90リットルの節水になり、再利用しなかった場合に比べ、毎月約650円、一年で約7800円の節約になります。90リットル×0・24円/リットル×30日×12カ月＝7800円



今では残り湯を汲みとるための専用のポンプがあるくらい一般的です。

またシャワーも、シャワーヘッドの手にスイッチが付いている節水型につけかえるのもよいでしょう。

洗濯

洗剤の入れ方も、慣れているからといって適当に入れるのではなく、指定の量をきちんと量って投入しましょう。洗濯物も一度に入れすぎないように気をつけることで、洗剤の洗浄能力を活かしながら、すぎでの水の使いすぎも防ぐことができます。



洗面所

歯を磨くときに30秒間水を流しっ放しにすると、約6リットルの水が無駄に流れていきます。コップにくんで磨くと3杯（約0・6リットル）程度の水ですみ、約5リットルの節水になります。



これが朝、晩、3人家族で考えると、毎月約

210円、年間約2520円の節約になります。3人×2回×5リットル×0・24円/リットル×30日×12カ月＝2520円

トイレ

手軽にできるのは、大小のレバーを使い分けること。意外とすべてを大で流している人も多いようです。ちよつとした点にも留意することが、節水につながります。



食器洗い

食器の汚れを一度キッチンペーパーやヘラなどで落としてから洗うと節水に役立つだけでなく、排水処理の負荷をやわらげます。また、洗いの桶の活用も考えてみては？ 水をはった小さめの洗面器などにざつと汚れを落とした食器を浸けてから洗うことで、量にもよりますが一回の食器洗いは20リットル前後で済み、一日約90～100リットル以上の水を節水できます。



※1リットル当たりの単価を0・24円とした場合の3人家族で1カ月当たりの節約金額です（下水道料金及び消費税を含む）。1リットル当たりの単価は、東京都水道局「平成21年度生活用水等実態調査」をもとに算出したもので、あくまで参考値としてご理解ください。

水を安価で安心して使うことができる日本ですが、だからこそ家族みなさんが普段から節水しようという心がけ、大切に使っていきたいものです。

資料・取材・原稿協力：東京都水道局

ご注意：今回は東京都水道局の協力を得て誌面を作成しています。料金メニューや設備機器、またはサービス概要などにつきましては、皆様にご利用の水道局などとは異なる場合がございますのでご了承ください。詳しい料金プランは各水道局などのホームページをご参照ください。